

第5回準備委員会

狭山市立

入間川小学校

視察報告書

平成25年10月2日(水)
午後3時から



和光市教育委員会 学校建設準備室

入間川小学校視察報告

視察の概要

狹山市立入間川小学校は、創立139年の市内で一番古い小学校で、平成8年から狹山市駅西口再開発事業と同時に移転建替えを行い、平成12年に現在の入間川のほとりに開校した。

松本教育長から「エコスクール」のモデル校として「太陽と風と水」をテーマに自然エネルギーの利活用を取り入れた本校の特徴や、生涯学習の場として地域との交流にも配慮した施設であることのお話を伺い、千葉校長先生や植松教頭先生により校内の案内を受けた。



松本狹山市教育長からの説明



施設の規模

全校児童数	528 名
クラス数	20
敷地面積	21, 948 m ²
校舎(延床)	8,012 m ² (3階)
体育館(延床)	1,341 m ²
プール棟	1,049 m ²
総事業費	約 47億円
(うち建築工事費 約29億円)	

入間川小学校の施設計画と主な対応

- 1 新しい環境づくり（多様な学習空間）**
普通教室の全てにオープンスペースを一体化し、多様性のある学習の場を構成。
- 2 開かれた学校づくり（地域開放、交流）**
地域開放や生涯学習の場として利用するため、コミュニティルームや家庭科室などの特別教室を利用しやすい配置とした。また、プール棟には上屋を設け計画的な水泳授業と同時に地域の利用を可能にした。



敷地配置図



（入間川小学校竣工記念誌から）

3 自然にやさしい学校づくり（太陽、風、水）

エコスクールのモデル校として、太陽、風、水などの自然エネルギーの利活用を取り入れた。ソーラーパネル150枚は20kwを発生し、東日本大震災の停電時も講堂（体育館）の照明は点灯していた。

1F

透明樹脂版で覆われた室内は、4月から10月まで暖房なしで利用ができる。また、夏場には室温が40度になることもある。



オープンスペースで多様性のある学習の場を創造





カウンターを置くことで簡単に仕切っている



教壇の上に反射板を設けた家庭科室



一般開放される工作室



廊下のつき当たりには、手洗い場がある。



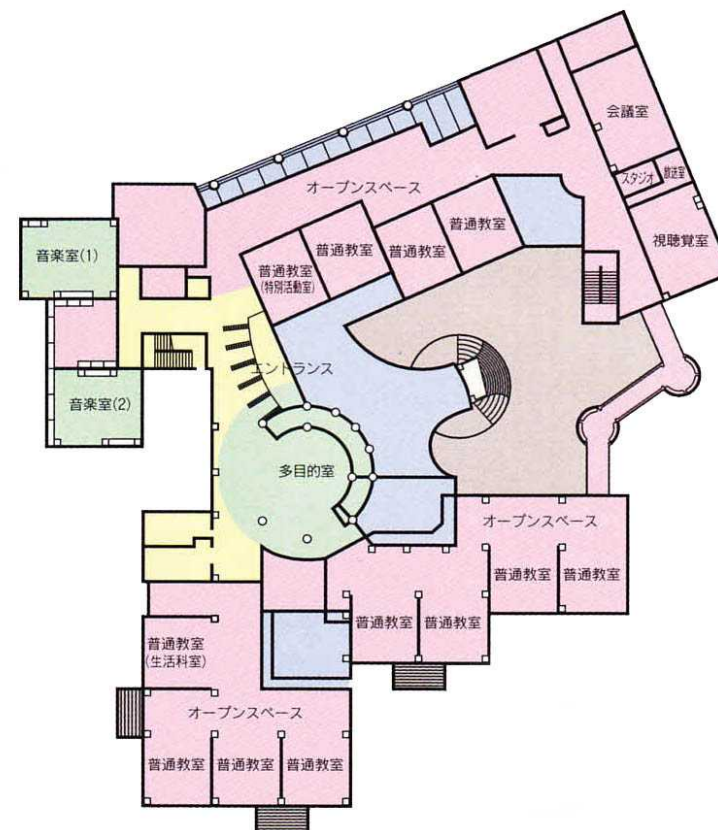
低学年は1階、高学年は2階に配置された昇降口



2F



多目的室では、演奏会がよく開催される



メルヘンチックな形の回廊は、ピロティ形式に、エントランス下は、低学年の昇降口になっている。





回廊の壁には、先生や児童の作品がズラリ



トイレ前には、3段階に分かれた手洗い場を設置



配膳室脇にエレベータを設置

英語教育には、特に力を入れている。
平成15年に早期外国語特区に指定
される。

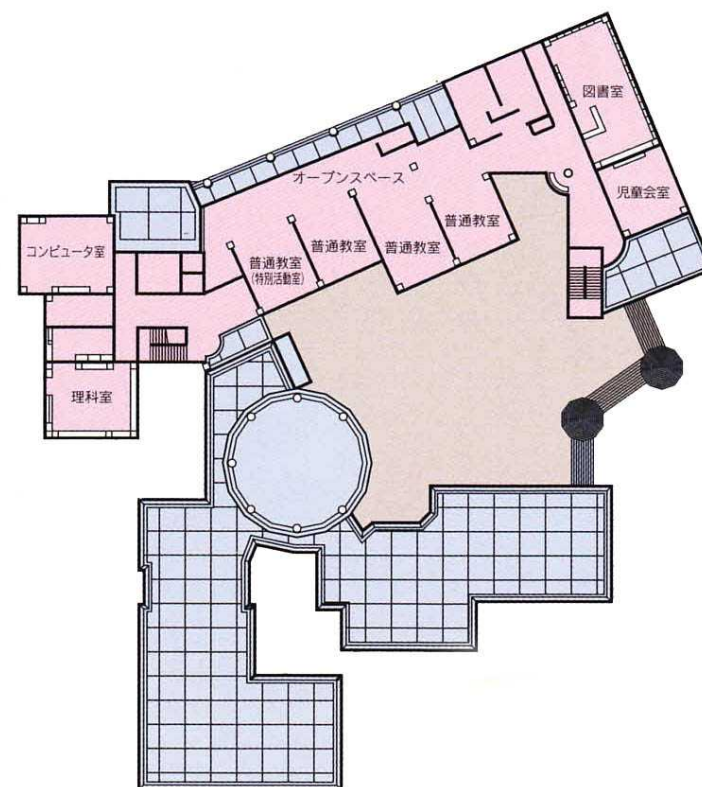
3F



理
科
室



コ
ン
ピ
ユ
ー
タ
室



その他



講堂屋上には、太陽光パネルを150枚設置



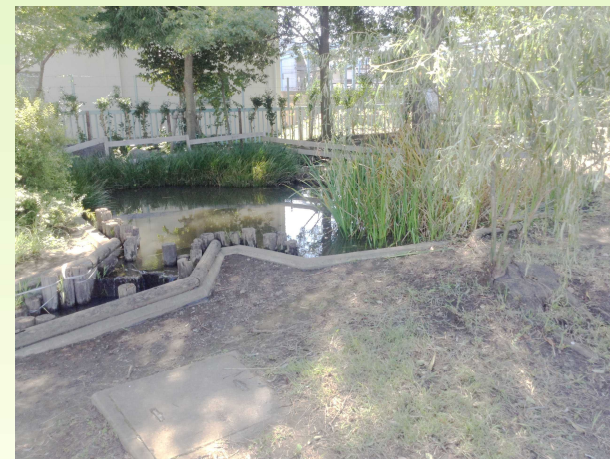
200mトラックと直線100mコースの校庭は10,000㎡



風力発電装置



太陽光システム表示板には、常に発電状況が



校庭の隅にはビオトープ